

だよ
り
美
術
館

Contents

ドーミエ作品介绍	[2~5]
平成17年度実技講座受講生募集	[6]
美術館友の会・ボランティアの会 会員募集	[7]
お知らせ	[8]
貸館情報	[8]
日本まんなか共和国	[8]

〈表紙:オノレ・ドーミエ「コットレ産の油は置いてありますか」(部分)〉

TYPES PARISIENS.



平成15年度末現在で、当館には約690件の版画コレクションがあります。このうちの約8割が西洋版画で、その中でも最も数が多いのが19世紀フランスで活躍したオノレ・ドミニエのリトグラフです。この中には、『カリカチュール誌』掲載の全作品（創刊号から終刊号まで完全揃）、『ロベール・マケール集』（100枚組み全揃い）の他、「古代史」、「アクチュアリテ」、「パリッ子の典型」、「表情のクロッキー」、「独身者の一日」、「諺と格言」、「ロベール・マケール第2集」、「古典悲劇の表情」、「人生の美しき日々」、「万国博覧会」などのシリーズのうちその一部分を所蔵しています。

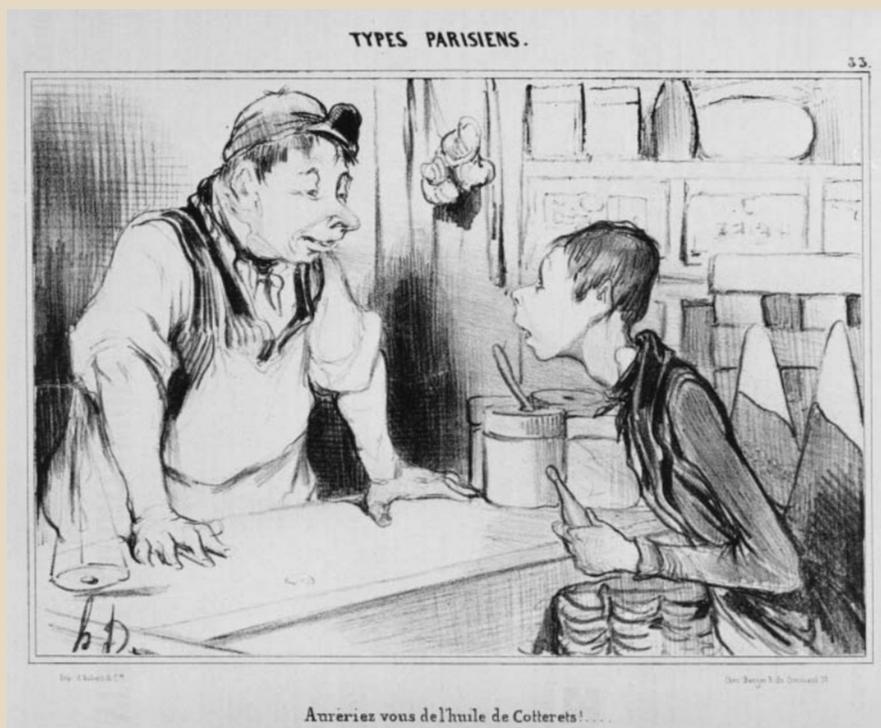
ドミニエの作品の魅力はなんと言ってもその卓抜した描画力とするどい風刺といえるでしょう。また多くの油彩作品も残っていますが、その真価は各風刺新聞に掲載されたリトグラフにあるといえます。ドミニエは、読者が絵を見ただけでその風刺内容が理解できるように作品を描いたようですが、国も時代も違うわれわれ現代の日本人にとっては、絵だけではその風刺内容が理解できないものも多々あります。幸いなことに、ほとんどの作品にはフランス語の表題や詞書がついており、絵の内容の理解を助けてくれます。ただしこれも解釈が難しいものもあり、一般の日本人はなかなかその真価を楽しめないというのも実情です。今回は、このようなドミニエの版画作品の中から数点を選んでご紹介したいと思います。

この作品が作られた七月王政期（1830～1848年）は、ヨーロッパ各地で革命が起きたり、フランス国内では暴動やストが起きたり政治的に安定しない時期でした。

この作品では若い男性が「コットレ産の油」を買いに来ている設定になっていますが、実際に「コットレ産の油」があるわけではありません。コットレ産の油の l'huile de Cotterets の Cotterets は当時のフラン

ス王ルイ・フィリップが出たオルレアン家の居城があるフランス北部のエース県の町 Villeres-Cotterets を連想させます。またフランス語には、「棒の一撃」を意味する huile de Cotret という言葉があり、ドミニエはここでわざと huile de Cotret の Cotret を Cotterets と書き換えているとも考えられます。更に、ここに描かれているような商店主の階層は、当時パリで裕福な市民層による民兵組織「国民軍」を形成していた階層で、通常は体制維持のために機能していましたが、ルイ・フィリップを追放した二月革命時（1848年）には、蜂起側と組んでルイ・フィリップを退位させる原動力となりました。ピンを持って油を買いに来ている若年の男は、当時体制側にとって最も危険な階級とされた労働者にも見えますが、これらの要素を考え合わせると、ドミニエのきな臭い政治風刺の意図が浮かび上がってきます。

この作品が所収されている「パリッ子の典型」シリーズは、1841年月から1843年1月まで『シャリバリ誌』上で連載された全部で50点のシリーズ。『シャリバリ誌』はシャルル・フィリップが1832年に創刊した4ページ立ての絵入り日刊紙。3ページ目に風刺版画が刷り込んでありました。ドミニエは1833年から寄稿し、途切れずかな期間を除き1972年まで寄稿を続け、4000点近い彼のリトグラフのほとんどはここに掲載されました。



「コットレ産の油は置いてありますか（「パリッ子の典型」シリーズ33）」 1842年 16.4×23.4cm（表紙作品）

TYPES PARISIENS.

35



Imp. d'Arbent & Co.

Cher Baugé & du Crémantelle

- Fait-elle ses embarras c'te chipie du centième, En chapeau! et deux tasses pour un sou de lait!
 - Dam! mère Capitaine, c'est que nous avons du monde ce matin.

「この5階の性悪女は、もったいぶって帽子なんかかぶって、それに1スーの牛乳にコップを2つも持ってきてきー」
 「ちょっと、オバちゃん、今朝は人数が多いんだからね。」

「この性悪女は……(『パリッ子の典型』シリーズ36)」1842年 17.0×21.5cm

こ こに描かれている情景はパリで牛乳を買う人の列です。当時は毎朝パリ近郊から搾りたての牛乳を市中に運んできて街中で売っていました。この頃はすでにフランスの民衆は現在と同じように毎朝カフェ・オ・レを飲んでいました。スーは昔の貨幣単位で1スーは最低単位。前にいる若そうな女性がかぶっているのは外出用の帽子で、後ろで文句を言っている老女たちがかぶっているのは室内用のかぶりものです。また「5階の……」と書いてありま

すが、フランスでは2階から「1階」と数えるので、これは日本式に言えば6階ということになり、比較的貧しい人たちが住む屋根裏部屋のある階と思われます。

2行目の会話文の解釈が難しいですが、牛乳を売る係りの人に向かって「今朝は人数が多いからこの人に2杯もやらないで」と言っている場面と思われます。

この作品も「シャリバリ誌」に掲載されたものです。ドーミエの活動した期間中で、1835年から1865年まで、途中の2月革命

(1948年)から52年に第2帝政に入るまでの数年間を除き、報道の自由が制限されていたので、この間のドーミエの風刺の矛先はこの作品のように一般の人々に向けられました。

HISTOIRE ANCIENNE .

11



Chez Bazier & C^o A du Croissant 16

Chez Aubert & C^o Pl de la Bourse

Imp. d'Aubert & C^o

L'ÉPÉE DE DAMOCLÈS .

Tu ne te plaudras pas de manquer en ce jour
 De couteaux pour diner, dit le tyran aimable.
 Ma foi ! fit Damoclès, si c'est un calembourg
 Je trouve que la pointe en est fort détestable

Titre academique de M. Patin.

「晚餐にナイフ（マテガイ）がないからって不平を言いなさんな。」
 と暴君が愛想よく言った。
 「確かに！もしそれが駄洒落なら、その皮肉（切先）は
 あまりにひどいじゃありませんか。」
 とダモクレスは答えた。——パタン氏のアカデミックなタイトル

「ダモクレスの剣（『古代史』シリーズ11）」 1842年 21.3×19.9cm

権 勢を極めたシラクサの専制君主ディオニシウスの家臣ダモクレスが、いつも君主の栄華をうらやむのを見て、ディオニシウスが君主の地位がどのようなのかを知らせるために、ダモクレスを王の座に座らせ、豪華な食事を出してもなした。すっかりいい気分になったダモクレスがふと見上げると、その頭上に馬の尻尾1本で剣が吊してあった。ディオニシウスは、こうやって王位にあるものの幸福は常に不安定で、危険の上に保たれているものであることを示した。そしてダモクレスは二

度と君主をうらやむことはなくなった、という古代の伝説から取られています。

詞書2行目のcouteauxという言葉には「ナイフ」と同時に「マテ貝」という意味があり、さらに一番下の行のpointeには「剣の切先」と同時に「皮肉」という意味があり、これらの言葉をかけて台詞が書かれています。

「古代史」は1841年12月22日から1843年1月5日まで「シャリバリ誌」に連載されたシリーズで、全部で50点リトグラフが掲載されました。本館ではこのうち25点を所

蔵しています。権力や権威を持つものへの強烈な風刺の態度を常に持ちつづけたドーミエは、古代ギリシャやローマの神話や叙事詩などに取材しながら、これらの登場人物や内容を滑稽で醜い姿に変えることによって、当時の芸術の理想的規範とされた古代の権威さえも風刺したのでした。



海辺のぶどう棚のそばで、この日彼女は独り言を言った。
 「私の愛の痛手を慰めに、
 もうそろそろバッカスが来てもいい頃ね。」
 ——マドモワゼルFLの心よりの詩文

「置きざりにされたアリアドネー（『古代史』シリーズ24）」 1842年 23.9×20.1cm

ア リアドネーはクレタ島のミノス王とパシパエの娘。テセウスがミノタウロス征伐にクレタ島へやってきたとき一目で彼を好きになり、彼に迷宮から出るときの糸だまを与えた。テセウスは迷宮から無事出てきたら一緒にアテナイへ帰り結婚しようとして約束した。ミノタウロスを倒し迷宮からできたテセウスは、帰る途申ナクソスと呼ばれる島に寄港したが、テセウスはアリアドネーをここに置き去りにしてしまう。アリアドネーが目を覚ますとまさにテセウスの船が遠ざかっていくところだった。しかし失意の

アリアドネーの前に現われたバッカスが、彼女の美しさに魅せられ、彼女を妻にするというギリシャ神話。

* * *

バッカス（ディオニュソス）は自然の豊饒とぶどう酒の神。葡萄はバッカスの象徴であるため、背景にぶどう棚を描きこんでいる。置いてきぼりを食ったアリアドネーが、ぼさぼさの髪で足を投げ出しつめを噛む、決して美しいとはいえない容姿で描かれている。また沖には今まさに立ち去る船が描かれている。この話は古来絵画や彫刻で扱われた

が、絵画では美しいアリアドネーがバッカスといるところが好んで描かれたし、彫刻ではアリアドネーの眠る姿が好んで作られた。ひるがえってこの作品では、目がさめたら恋人の船が立ち去っていくところという最も衝撃的な場面を、非常に間抜けな雰囲気でも描いている。まさにドーミエの真骨頂といえる。

（翻訳・解説：主任学芸員 芹川真夫）

平成17年度 福井県立美術館実技講座受講生募集要項

講座種別	基礎講座			専門講座		
講座科目	日本画講座	洋画講座	彫刻講座	日本画講座	洋画講座	彫刻講座
指導講師	湯浅 満	坂井 敏之	河野 千恵子	塩出 周子 湯浅 満	小原 勉	古市 貴代 池田 雅彦
講座定員	20人	30人	10人	20人	30人	10人
講座会場	県立美術館実技研修棟			県立美術館実技研修棟		
講座期間	平成17年4月2日～6月18日(延10回)(土曜日)			平成17年7月2日～平成18年1月28日(延25回)(土曜日)		
講座時間	午後1時30分～4時30分			午後1時30分～4時30分		
対象者	作品制作の初歩的な基礎を学ぼうとする者			作品制作の経験があり、さらに専門的に学ぼうとする者 基礎講座を受講経験した者		
受講料	7,500円			19,000円		
材料費	受講生実費負担			受講生実費負担		
講座日	平成17年 4月／ 2日・9日・16日・23日 5月／ 7日・14日・21日 6月／ 4日・11日・18日			平成17年 7月／ 2日・9日・16日・23日 8月／ 20日・27日 9月／ 3日・10日・17日・24日 10月／ 1日・8日・15日・22日 11月／ 5日・12日・19日・26日 12月／ 3日・10日・17日・24日 平成18年 1月／ 14日・21日・28日		
募集期間	平成17年3月1日(火)～3月20日(日)			平成17年5月1日(日)～5月31日(火)		

■ 応募方法

- ◎ 必ず官製ハガキ(往復ハガキ)を使用し、右記の所定事項を記入の上、投函して下さい。
- ◎ 記入は、楷書で明確をお願いします。
- ◎ 電話による応募の受付はいたしません。

■ 応募条件

- ◎ 16歳以上で県内に居住する者、県内に在学する者および勤務する者。
- ◎ 受講歴1回以下の者。

■ 受講者の決定

- ◎ 応募者が定員を超えた場合は、抽選により決定します。(新規応募者優先/結果は締切り後10日以内に連絡します。)

■ ハガキに記入する事項

- ① 講座種別と科目(例:専門講座、日本画)
- ② 氏名(ふりがな)、性別
- ③ 生年月日、年齢
- ④ 住所、電話番号(連絡先)
- ⑤ 専門講座に限り、経験の程度を簡単に記入して下さい。
(例:○年度基礎講座受講、○年、県・市美展入選、入賞)

■ 作品展日程

平成18年 2月12日(日)～2月19日(日)
搬入:平成18年 2月11日(土)
搬出:平成18年 2月19日(日) 16:00～17:00

問い合わせ先(宛て先)

福井県立美術館 実技講座係

〒910-0017 福井市文京3丁目16-1 TEL. 0776(25)0452

※講師急病などやむを得ない都合により日程が変更または代替講師になる場合があります。

※材料は受講生実費負担とし、各自で用意していただきます。

※作品や道具類はその都度お持ち帰り下さい。

★この講座は福井ライフ・アカデミー事業に連携しています

福井県立美術館

友の会

平成17年度

会 員 募 集

友の会とは…

福井県立美術館友の会とは、美術に親しみ、美術鑑賞会などの催しものを通して親睦を深めようとする人たちの集まりです。

活動内容

1. 友の会ニュース・美術館だよりの発行、配布
2. 県外美術館見学会の実施(年2回)
3. 実技講座・美術講座の開催
4. 企画展鑑賞会の開催

特 典

1. 常設展はいつでも無料でご覧いただけます。
2. 企画展無料入場券の配布があります。
3. 県立美術館主催、共催の展覧会が2割引でご覧いただけます。
4. ミュージアムグッズが2割引でお求めいただけます。

会 費(年間)

- | | |
|--------|---------|
| 【一般会員】 | 2,000円 |
| 【家族会員】 | 4,000円 |
| 【特別会員】 | 10,000円 |

会員期間

4月1日から翌年3月31日までの1年間

申込み方法

郵便振替、または申込み用紙に会費を添えて、美術館窓口で直接お申し込みください。
今年度より口座振替ができるようになりました。

【郵便振替でお申し込みの場合】

振替用紙の通信欄に、

◎住 所◎氏 名◎生年月日

◎電話番号◎職 業

をご記入のうえ、次の口座に会費をお振込みください。

《口座番号 00700-8-41543》

【口座振替の場合】

「口座振替依頼書」を提出していただきます。

詳しくは、県立美術館友の会事務局までお問合せください。

【お問い合わせ】 県立美術館友の会事務局 TEL. 0776(25)0452

美術館 ボランティア会員 募集

福井県立美術館ボランティアの会では、平成17年度の新規会員を募集しています。

美術に親しみながら、美術館の仕事を手伝ってみませんか？ご興味のある方はお気軽にお問い合わせ下さい。

入会資格

1. 美術に興味のある高校生以上の方
2. 月2回以上活動可能な方。

活動内容

1. 来館者の方向けのインフォメーションサービス。
2. テーマ展・展覧会場での監視や作品解説。
3. 図書・美術関係資料などの整理。

※ なお、入会にあたっては、事前に体験学習と育成講座を受けていただきます。

【お問い合わせ】 ボランティアの会事務局 TEL. 0776(25)0452

お知らせ

<3月～4月の休館日について>

展示替え等のため、

3月14日(月)、4月4日(月)・5日(火)・18日(月)は休館とさせていただきますのでご了承下さい。

貸館情報

- | | | | |
|------------|---|------------|------------------------|
| 3/15～ 3/22 | ● 第51回 全国写真展覧会
福井県写真師会会員作品展
福井県写真グランプリ入賞作品展 | 4/ 6～ 4/10 | ● 第10回 ベナール美術展 |
| 3/18～ 3/21 | ● 茂美会絵画展 | 4/ 6～ 4/10 | ● 第23回 究展(絵画グループ展) |
| 3/25～ 3/27 | ● 第52回 福井奎皇展・公募展 | 4/ 7～ 4/10 | ● 柳町邦光写真展「野鳥彩時季」 |
| 3/25～ 3/27 | ● 尚山会水石展 | 4/13～ 4/17 | ● 第3回 グループ彩作品展 |
| 3/30～ 4/ 3 | ● 鯖江市インテリジェントデザイン講座
第17期生修了制作展 | 4/14～ 4/17 | ● 第20回 シルバー福井展 |
| 3/30～ 4/ 3 | ● 第13回 グループS洋画展 | 4/21～ 4/24 | ● 第14回 紫陽花展 |
| 3/31～ 4/ 3 | ● 第32回「失われゆく自然・人間」展 | 4/21～ 4/24 | ● 朝倉涼村遺作展・第17回 涼村社水墨画展 |
| | | 4/21～ 4/24 | ● 樹の会作品展 |
| | | 4/29～ 5/ 2 | ● 第21回 イーゼル会デッサン展 |

広報板

日本まんなか共和国

日本の東西文化の境界にある四県(岐阜、三重、滋賀、福井)が連携し、より効果的な文化活動を行うため、先進的な「日本まんなか共和国」の創造を目指しています。

滋賀県立近代美術館

大津市瀬田南大萱町1740-1 TEL:077-543-2111

ー江戸絵画への熱いまなざしー インディアナポリス美術館名品展 2月26日(土)～4月3日(日)



「日吉山王祭礼図」17世紀後半～18世紀初期
MandM's William RSpurlock Fund

アメリカ合衆国中央部にあるインディアナポリス美術館は、その幅広いコレクションの中でも特に日本美術の収集で知られている。特に近世絵画についてはその流れを総括的に紹介できる優れたコレクションとなっている。

この展覧会では、依屋宗達、曾我蕭白、狩野探幽など著名な画家たちの襖絵、屏風絵、軸などの作品を中心に73件の作品で日本絵画の名品を紹介する。



曾我蕭白「虎深三笑図」18世紀後期
MandM's William RSpurlock Fund

一般 1,000円(800円)／高大生800円(600円)／小中生600円(400円)
※ 括弧内は、前売りおよび20名以上の団体料金

岐阜県美術館

岐阜市宇佐4-1-22 TEL:058-271-1313

岐阜県美術館は、
2004年11月1日(月)から
2005年3月31日(木)まで
空調設備の改修工事のため
休館します。

ー帰ってきた私たちの名品展ー 岐阜県美術館で会える巨匠たち ルドン、ルヴァール、玉堂から 現代まで150選 4月1日(金)～5月8日(日)



オディロン・ルドン「神祕的な対話」1896年頃

空調工事終了による再開を記念して開催する大規模な館蔵品展

一般 320円(260円)／大学生 210円(100円)
※ 括弧内は、20名以上の団体料金

三重県立美術館

津市大谷町11 TEL:059-227-2100

HANGA 東西交流の波展 2月11日(金)～3月27日(日)

日本と西洋の近世から現代に到る版画の歴史をたどり、版画が東西文化の往来に果たしてきた役割を紹介し。



ゴッホ「マールル(感謝)」1893-94年

一般800円(600円)／高大生600円(450円)／小中生400円(250円)
※ 括弧内は、20名以上の団体料金

和田義彦展

4月9日(土)～6月12日(日)



和田義彦「サロン」

和田義彦(1940～)は三重県出身の洋画家。イタリア、スペインなどに滞在して西洋古典絵画を研究し、そこから得た高度な絵画技術と明確なデッサン力、濃厚な色彩感覚によって、現代社会と人間の内面にせまる独自の世界を提示している。本展では、初期から今日にいたる代表などを展示し、和田義彦の画集を紹介する。

一般800円(600円)／高大生600円(450円)／小中生400円(250円)
※ 括弧内は、20名以上の団体料金